

12月

斐川東中だより



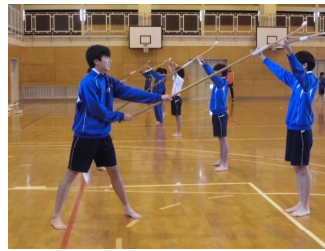
令和6年12月20日

出雲市立斐川東中学校

文責：安達直幸

早いものであと10日で1月です。世間では流行語大賞や今年を表わす漢字などが発表されました。みなさんにとって、今年はどういう年だったのでしょうか。本校では、来年度からの新制服の導入や部活動の削減について決定した年となりました。

なぎなたの授業



本校では、数年前から2年生体育の授業で「なぎなた」を行っています。

これは、国の事業の一つで「日本の令和型学校体育構築支援事業」があり、県より依頼を受けて行っているものです。武道の領域において、普段は柔道を行っています。この日はお二人の講師（井上美代出雲北陵高校教諭、安喰愛島根県スポーツ協会職員）による指導を受けながら、なぎなたに挑戦しました。構えや打ち方などの基本を教わると、かけ声にあわせて打ち込みをしていました。最後にはペアで動きを練習しました。技術だけでなく、礼儀についてもしっかりと指導をしていただきました。生徒の動きを指導された講師の方からは、「センスがある生徒がいますね」と講評をいただきました。生徒は真剣に取り組んでいました。今後はなぎなたの道を志す生徒も出てくるかもしれません。

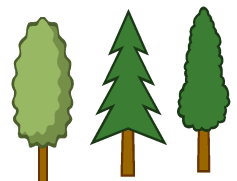
森林環境出前講座



今年も「森林環境出前講座」を実施しました。人口減少のために森林の整備が間に合わなかったり、環境が変わって災害が起きたりする状況について学びました。

昔は林業で生計を立てる人も多くいたため、自然に森林環境が守られていましたが、今はそうではありません。国や県などが積極的に支援を行うことで、環境を保とうとしています。講師の『NPO法人もりふれ倶楽部』の野田さんからこれらの現状についてお話を聞き、生徒は感じたことを感想に書きました。

- ・今では手作業でなく機械での作業が増えて、若い人や女性でも林業に興味をもっていることはすごいことだとわかりました。（2年生）
- ・「森は海の恋人」という言葉を聞き、森と海が互いに支え合っている関係は、私たちが守るべきものだと感じました。（3年生）



高齢者体験

2年生が福祉学習の一環として、「高齢者体験」を行いました。社会福祉協議会や介護施設の職員のみなさんにお越しいただいて、さまざまな装具を着用させていただき、いくつかの体験をしました。

例えばベルトを着けると、常に腰が曲がった姿勢で歩かなくてはならないため、バランスが取りにくく、素早い動きができなくなりました。また、軍手をはめて視野が狭くなるようなめがねをつけると、見えにくい上に小銭をつかむことがとても困難なため、買い物時にレジで時間がかかることが想像されました。さらに、色の認識が難しくなると、実際の色が判断できないということもわかりました。立ったり座ったりも不自由になることで、他人の手を借りないと思うように動けないことも実感していました。自分の将来を想像するにはまだ先のことですが、高齢者の気持ちを知る機会になりました。



生徒総会・新生徒会メンバー発表

令和6年第2回生徒総会を行いました。3年生が中心となった生徒会もこれで終わりを迎えました。常時活動はもちろん、新しくコラボ企画などもあり、しっかりと東中を引っ張ってくれた生徒会でした。次期生徒会長は2年生の須田瑠華さんです。須田さんから、新しい役員や委員長等の任命がありました。その後、ひとりずつ挨拶があり、目標や生徒のみんなへのお願い等がありました。まだ始まっていませんが、これまでの東中の良き伝統を引継ぎながら、よりよい生徒会を作ってくれることを期待しています。



～来年もよろしくお祈いします～

令和6年は、能登半島地震という大きな災害で始まりました。被災されたみなさんの中には、まだ元の生活ができないまま年を越さなければならない方もたくさんいます。一方では、オリンピックやパラリンピックにおいて、日本選手の活躍が光った年でもあり、日本中が歓喜に満ちた年でもありました。まもなく令和7年を迎えます。みんなが安心して過ごせるよい年であってほしいと思います。健康に留意して、家族や親戚、地域のみなさんとの大切な時間を過ごしてください。3学期始業式には元気で会いましょう。

